

おおさきかみじまの あきを みつけて たのしもう

ーあきとなかよしー

本単元で育成する資質・能力

- ①豊かな思考力・判断力・表現力②課題発見力③主体性・粘り強さ
④多様性・協調性⑤郷土愛

1 日時 令和5年12月5日(火) 第2・3校時

2 学年 第1学年 男子10名 女子8名 計18名

(1) 単元について	(2) 児童について
<p>本単元は、小学校学習指導要領の第1学年に示された指導事項のうち、(2)身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。をうけて設定されている。1学期に、「きになるばしょにいてみよう」「なつとなかよし」という学習を行った。春には、育てたい花の種について調べて、花の種を植えて育てたり、夏には、大きくて割れにくいシャボン玉を作って遊んだりした。本単元では、地域の秋の虫探しを行い、実際に教室で虫を飼ったり、どんぐりやまつぼっくりを探してそれらを使ったおもちゃを作ったりすることで、秋の実りや色彩の変化に気付かせることをねらいとしている。また、地域のことを知り、地域の方々とのつながりを深めることを通して、地域に愛着をもたせることができると考え本単元を設定した。</p>	<p>本学級の児童は、生活科におけるアンケート「生活科の学習は好きですか。」の問いに、肯定的評価をした児童の割合は94%であった。自分たちで課題を決めて取り組ませたり、自分たちで情報収集をして課題を解決していく学習を進めたりしてきたことが有効であったと考える。しかし、「どこにどんぐりや、虫がいるか知っていますか。」というアンケートに肯定的な児童は61%ととても低かった。通学路以外に地域のことを知らなかったり、地域との関わりが少なかったりするためであると考えられる。</p> <p>また、支援が必要な児童が5名おり、内容理解や、書くことに課題がある。授業中に、「分からないから教えて。」「どうしたの。」と教え合う時間を設けたり、文字を書くことが苦手な児童は絵で説明したり、グループ活動において役割分担したりすることを増やし、支持的風土を作っている。</p>
(3) 指導の手立て	
<p>課題の設定では、秋で思いつくものをウェビングし、その中から児童が「なぜ?」「どうして?」と思ったものに焦点を絞り、単元を貫く課題を自分たちで設定させる。そして、木の実やどんぐり・秋の食べ物・秋の虫について調べて、他校の1年生と「大崎上島の秋の宝物を伝え合おう」というゴールを設定する。</p>	
<p>情報の収集・整理分析では、ゴールに向かって情報収集と整理分析をしていく。授業の中で、どんぐり等を探しに地域の探検に行ったり、保護者にも協力を仰ぎ、家庭学習として近所のどんぐり等の情報を収集したり、本で詳しく調べたりして情報収集と整理分析をしていく。そして、国語の「はっけんしたよ」という書くの学習と繋げて、発見したことを分かりやすくまとめて書く。</p>	
<p>まとめ・実行・表現では、相手意識を他校の1年生から町内の年長さんに広げ、分かりやすく説明すること、楽しんでもらうことに留意しなければならないことを確認し、課題の再設定を行う。その後、パフォーマンス課題である、「K授業」を行い、地域の秋の宝物を交流したり、秋に収穫したものを使って作った「秋のおもちゃで遊ぼうかい」を行ったりすることで、大崎上島町のことを深く知り、大崎上島のよさを知ると共に、年長さんを楽しませようと頑張ってきた自分や友だちの良さや頑張りを認める力を育成していく。</p>	

3 単元のデザイン

(4) 本単元の目標

- 秋の校庭や遊び場などで散歩したり遊んだりする活動を通して、季節が秋に変化したことに気付くとともに、木の葉や木の実などの自然物を使ってみんなで工夫して生活に役立つものを作ったり、遊びに使うものを作ったりして、楽しむことができるようにする。

(5) 本単元で育てたい資質・能力とのかかわり

学校目標 自分を大切に まわりを大切にできる ほかほかがあふれる大崎小にしよう

めざす子ども像 「自ら考え行動する子」「思いやりのある子」「粘り強い子」「ふるさとを大切にする子」

育成しようとする資質・能力及び態度の第1学年の評価規準

知識・技能 大崎上島の自然を知る	大崎上島にいる秋の生き物やどんぐりをたくさん探することができる。
思考・判断・表現力 ①豊かな思考力・判断力・表現力 (考え伝える力)	仲間分けしながら考え、相手に合わせて分かりやすくまとめて、表現することができる。(絵・写真・タブレットの活用)
思考・判断・表現力 ②課題発見力 (?を見つける力)	「なんで」「どうして」を大切に、自分たちで課題を設定することができる。
学びに向かう力、人間性等 ③主体性・粘り強さ (やりぬく力)	うまくいかないことがあっても、友だちと協力し、ゴールを意識して最後まで取り組もうとする。
学びに向かう力、人間性等 ④多様性・協調性 (みとめる力)	学習を振り返り、自分や友だちのよさや頑張りを認めようとする。
学びに向かう力、人間性等 ⑤郷土愛 (島をあいする心)	大崎上島町の自然や生き物のことを知り、大崎上島を好きになろうとする。

(6) 単元の評価規準 (①～⑤は本単元において育成しようとする資質・能力)

	知識及び技能	思考・判断・表現力	主体的に取り組む態度
A	・春と夏の自然の違いや、秋の特徴に気付くとともに、季節によって生活の様子が変わることの理解し、その面白さ・自然の不思議さに気付いている。	・どんぐりを利用して工夫して遊びに使うものを作り、さらによくなるように改善している。 ①身近な自然や秋の生き物の特徴を見付け、それらを相手や人数に合わせて変えながら分かりやすく表現している。 ②「なんで」「どうして」と思ったことからクラスの課題を設定し、さらに自分の目標を設定している。	・季節の変化に関心を持ち、どんぐりやまつぼっくりを使ってできることを進んで考え、自分の生活を楽しくしようとしている。 ③みんなが協力できるように工夫し、ゴールを意識して最後まで楽しみながらどんぐりの遊びを創り出そうとしている。 ④学習を振り返り、自分や友だちのよさや頑張りに気付き、自己や友だちの成長を感じている。 ⑤地域にいる生き物やどんぐり・まつぼっくりを探す中で、地域に愛着をもち、生き物やどんぐりなどを大切にしようとしている。
B	・春と夏の自然の違いや、秋の特徴に気付くとともに、季節によって生活の様子がかわることを理解している。	・どんぐりを利用して工夫して遊びに使うものを作っている。 ①身近な自然や秋の生き物の特徴を見付け、それらを相手に合わせて分かりやすく表現している。 ②「なんで」「どうして」を出し合い、クラスで課題を設定している。	・秋を楽しむために、どんぐりやまつぼっくりを使ってできることを考え、自分の生活を楽しくしようとしている。 ③みんな協力し、ゴールを意識して楽しみながらどんぐりの遊びを創り出そうとしている。 ④学習を振り返り、自分や友だちのよさや頑張りに気付こうとしている。 ⑤地域にいる生き物やどんぐり・まつぼっくりを探すことを通して、地域に愛着をもとうとしている。
C	・春と夏の自然の違いに気付くことはできるが、秋の特	・どんぐりを利用して教えてもらいながら遊びに使うものを作ることができるが、自分なりの工夫をしていない。 ①身近な自然や秋の生き物の	・季節に関心はあるが、それを取り入れて自分の生活を楽しくしようとしていない。 ③みんなと協力して遊びを創り出していない。

	徴やよさを理解していない。	特徴を見つけていない。また、それらを相手に分かりやすく表現していない。 ② 「なんで」「どうして」という意見を出していない。	④ 学習を振り返り、自分や友だちのよさや頑張りに気付いていない。
--	---------------	---	----------------------------------

4 指導計画（全23時間）

次	学習活動	評価の観点			
		知識	思判表	主体	
一	課題設定（3） <ul style="list-style-type: none"> 「秋」で思いつくものをウェビングし、単元を貫く課題を設定する。（1時間） チーム（どんぐり・きれいなこのは・あきのいきもの）に分かれて活動の計画を立てる。（2時間） 		○	○	・評価規準（評価方法） ◆資質・能力の評価（評価方法） ・身の回りに感じられる季節の様子や変化に関心を持ち、それらを見つけようとしている。（発言・ワークシート） ◆みんなが喜び、みんなのためになる学習課題を設定し、ゴールを意識して学習を進めることができる。（行動観察・ワークシート）
	情報の収集 整理分析（6） <ul style="list-style-type: none"> 学校周辺の秋を見つけに行き情報を集める。（2時間） 学校外の秋を見つけに行き、より多くの情報を集める。（2時間） みつけた秋を整理し、季節の違いや特徴に気付く。（2時間） 		○	○	・自然と関わることを通して、季節の変化を感じ、それらを利用して楽しむ方法を考えている。（発言・ワークシート） ・秋の植物や生き物に関心を持ち、校庭や旧大崎幼稚園の園庭の様子の変化を探そうとしている。（行動観察・ワークシート） ・季節によって、生活や自然の様子が変わること気付くことができる。（ワークシート）
	まとめ・実行・表現（5） <ul style="list-style-type: none"> 秋に収穫したどんぐりを使った遊びをつくる。（4時間） 他校の1年生を対象に、秋に収穫したものを使って、「1年生で作って遊ぼう会」（「K 授業」）を開き、みんなで秋を楽しむ。（1時間） 		○	○	◆情報を整理する中で気付いたことを、初めて見た人にも分かりやすくまとめて、表現することができる。（制作物） ◆学習を振り返り、自分や友だちの成長や頑張りを認めている。（ワークシート）
二	課題の再設定（1） <ul style="list-style-type: none"> 振り返りを交流し、「年長さんと作って遊ぼう会」（「K 授業」）を計画し、年長さんを楽しませる方法を考える。（1時間） 		○		◆年長さんを楽しませるために、どうしたらいいかを考えて学習課題を設定し、ゴールを意識して学習を進めることができる。（行動観察・ワークシート）

	<p style="text-align: center;">まとめ・実行・表現（7）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長さんが楽しめる「秋見つけクイズ」を作成し、発表の練習をする。（3時間） ・年長さんが楽しめる遊びになるように、ルールや遊びを工夫・改善する。（2時間） ・パフォーマンス課題町内の「年長さんと作って遊ぼう会」（「K 授業」）を行い、年長さんを楽しませる。（2時間・本時） 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちの意見を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりしている。（行動観察） ◆ うまくいかないことがあっても、友だちと協力し、ゴールに向かって最後まで取り組むことができる。（行動観察） ・大崎上島の自然や生き物についての知識を増やすことができる。 （行動観察・振り返りシート）
	<p style="text-align: center;">振り返り（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大崎上島にはどんな秋があったか、どんな楽しさがあったかを振り返る。 	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・大崎上島の自然や生き物のことを知り、大崎上島に愛着をもっている。 （ワークシート）

5 本時の学習（21・22/23時）

（1）本時の目標

作ったおもちゃで年長さんと遊んだり，秋の宝物を交流したりすることで，自分の工夫したところや友達の良いところを見つけることができる。

（3）準備物

ガムテープの児童の名札，作ったおもちゃ，それぞれの発表物，ゲームの看板，コーン，年長さんへルールを説明する絵カード，ゲームの参加カード，シール，振り返りシート

（4）本時の展開（21・22/23時）

時間	活動内容	留意点	備考
9:30	1 はじめのあいさつ【全体】 校長先生のお話	(体育館に集合)	・グループごとに発表の準備をしておく。 □司会…木江小
9:35	2 秋に見つけたこと紹介 (30分間)	①大崎小(10分以内) ②木江小(10分以内) ③東野小(10分以内)	・準備物は前日に大崎小に運搬しておく。
10:05	3 年長児をお客さんとして、秋の物を使ったゲームをする。 【全5グループ】 全5ゲーム(5グループ) 約5分×5ゲーム ※各場所で、ゲームの説明(やり方・注意事項など)をしてから始める。	・各グループの園児が、ゲームを順に移動しながら活動する。 ・園児に分かりやすく説明する。 ・ゲーム参加カードを持ち、終わったらシールを貼ってもらうようにする。 ・ゲームを終えたグループは、座って振り返りなどを出し合い、その場所から他のゲームの様子を見る。	※年長児を5～6名の5グループに分けてもらうように連絡しておく。 ※約5分ごとに、全体に移動の合図を出す。全てのグループが5分程度内に活動を終わっていたら、移動の合図を全体に出す。
10:40	4 トイレ休憩		
10:50	5 振り返りを発表する。 【全体】 (自由に挙手させ指名は各担任が行う。園児も可能ならば指名する)	・詳しくは、各校に帰ってから振り返りシートを使って振り返りを行う。	
11:05	6 全体写真を撮る。(体育館)		
11:20	7 持ち物の片付けをする。 8 おわりのあいさつ【全体】 解散		□まとめの話… 木江小